



普及センターだより

山城の活躍する女性たち



井内
かおりさん
(宇治市)

上田
麻由さん
(久御山町)

森田
真希さん
(木津川市)

杉田
智恵美さん
(京田辺市)

農作業も経営も家事・育児もこなしながら活躍する女性に注目が集まっています。今回は山城地域でがんばっている女性たちに農業への想いを語っていただきました。

- 司会** こんにちは！ 今日はおよろしくお願ひします。まずは自己紹介からお願いひします。
- 森田** 木津川市の抹茶農家に嫁いで15年です。うちの茶葉を使った抹茶チョコや和紅茶を作っています。
- 杉田** 京田辺市でトマトの施設栽培とお米をしています。実家はお茶農家で、農業大学校を出てトマト農家と結婚して7年くらいです。
- 上田** 久御山町でキュウリやナス、小松菜、ほうれん草、菊菜、お米を作っています。私の

- 実家が元々農家で夫と一緒に農業を継ぎました。
- 井内** 宇治市で施設栽培の万願寺トウガラシとお米を中心にやっています。裏作でカブとキュウリをしています。主人は兼業農家でしたが、2年前に退職して農業に専念しました。
- 上田** 農家に嫁がれるとき不安はなかったですか？ 私は親を見ているから農業は頑張ればお金になるのかなって思えるのだけど。

京都府山城北農業改良普及センター

〒610-0331 京田辺市田辺明田1 TEL.0774-62-8686

京都府山城南農業改良普及センター

〒619-0214 木津川市木津上戸18 TEL.0774-72-0237

山城の活躍する女性たち

座談会続き

森田 結婚したのが25歳で若くて世間を知らなかったからいけたのかな。
井内 私は正直なるとかなと思って結婚しました。親もそんなことを言ってくれました。
上田 私は3姉妹の長女で、妹が継いでくれなくて。この土地がもったいないと思って、農業してくれる人が見つかって結婚できました。
杉田 おじいちゃんの作った野菜が美味しかったから農大に進学しました。農大の農家留学研修では旦那の所でトマトを学びました。卒業後、共通の知人の紹介で結婚することとなりました。
森田 トマトを育てながら愛を育てたんやね～！



平成29年10月 普及センターで座談会を実施

司会 皆さんのしている農業や加工品づくりを紹介してください。
森田 私は抹茶を使って何か商品を作りたいなあと考えて、普及センターの勉強会に参加したときに誕生したのが「神ちよこ」です。神童子地域の「神」をとって「神ちよこ」って名付けました。手伝いに来てくれる人にパッケージをデザインしてもらいました。袋に直接印刷してあるからチョコを詰める手間が楽です。最初は直売するつもりで値段を決めたのでとても安かった。今は量も多く箱詰を内職に出してお金がかかるし、11月に送料も上がります。小売店に値上げしたいと言いくて頭を悩ませています。でも欲しい人には応えたいので、続く間は頑張ろうって思ってます。
杉田 値段付けるのは難しいですね。
上田 直売所のお客さんは値段にめっちゃ敏感！
井内 市場でとってもらえへんとき、直売所があるから助かる。地元の飲食店にも出していて、ちょっと形の悪いのとかも買ってくれる。私は自分で野菜を買わへんから値段がわからへ

ん。それでもスーパーと一緒に値段だと思ってもらえへん。あと、お客さんから「野菜のどこを見たら良いですか？」って質問されたらめっちゃ困る。買わへんから。家ではきれいな食べてへんし。

上田 わかるわかる！
森田 「この名前（栽培者）を見たら買って下さい、この名前のが美味しいです」って言うといったら良い。
一同 おお～！
杉田 うち、お茶とトマトやお米作りでは忙しい時期が重なるので、相談してお茶をやめました。それで、ずっと前から主人の夢だったトマトの面積を増やしました。ハウスを増築する前に、主人が収量や単価、売上や返済計画などを順番に説明してくれました。それを聞いて、人手のことさえクリアできたらいいんじゃないかなって思いました。これからは自分たちでしていかなあかんし。今年から新しく従業員を雇います。雇用は初めてなので手探りです。
上田 うちキュウリだけにしようかって話しています。ひとつのことを一生懸命した方が良いのかなあって。野菜は直売所や市場や居酒屋などに持って行ってます。従業員を雇うと、その人の仕事をフルで考えて、給料を払える売上げを上げていかないといけないので、考えると雇用は色々難しいなと思っています。



お互いの話に聞き入りました。

司会 これからもこういう交流の輪を広げられたらと思うのですが…？
森田 ああ、良いと思います。ぜひよろしくお願いします。
上田 お茶の工場をすごく見たい！
一同 また、よろしくお願いします。

進む「農福連携」

皆さんは「農福連携」という言葉を聞かれたことがありますか？ 文字通り、農業の現場と福祉の現場が連携することであり、農業の担い手不足の問題と福祉の障害者等の働く場所がないという問題を解決する施策です。

京都府では、平成29年5月に「きょうと農福連携センター」が設立され、山城地域でも南部サテライト拠点の「(社福)京都聴覚言語障害者福祉協会 さんさん山城」(京田辺市)を中心に取組を進めています。

「さんさん山城」では、これまでに、地域特産のエビモやナス、チャの栽培に取り組まれています。普及センターではその取組に対して支援を行うほか、29年度は、近隣の茶農家に茶苗木を供給するため、南部6つの福祉事業所を対象に5回にわたり「さし木研修会」の講師を務めました。

また、「さんさん山城」では、事業所内で栽培された農産物を使ったえびいもコロケや宇治茶濃茶大福の販売や、コミュニティカフェを整備するなど、地域の住民や農家と連携されています。普及センターでは、今後とも「農福連携」を技術面から支援していきます。



さし木研修会での講義

気象情報を有効活用して農作物被害を防止しましょう

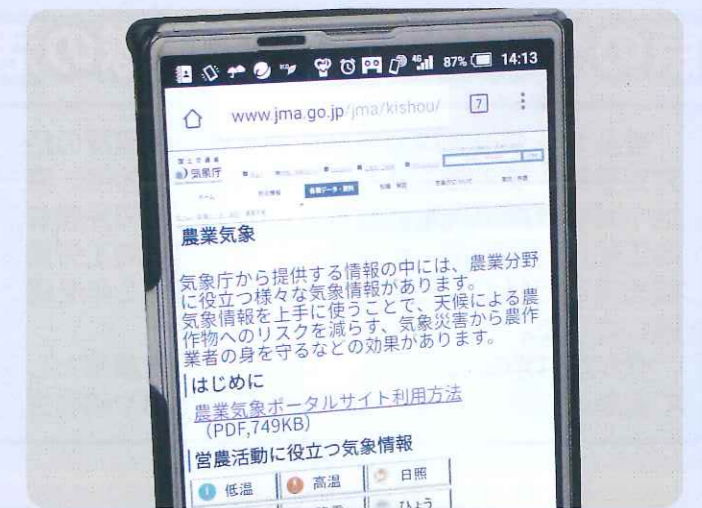
近頃の天気は、急な大雨・強風や長期にわたる曇天、あるいは雨不足など、不順な天候が頻発しています。このような環境においては、気象情報を上手に活用してできるだけ適期に農作業を行うことが非常に大切になっています。

気象庁のホームページには、テレビなどで普段よく目にする週間予報や1ヶ月予報などの他に、平均気温が平年より大きく異なる可能性がある場合に発表される「異常天候早期警戒情報」や、観測地点(京田辺市など)での過去のアメダスデータ(降水量、気温、日照時間など)が日ごとにデータ取り出しできる機能など、豊富な情報が掲載されています。

また、「農業気象ポータルサイト」も準備されており、例えば、「2週間先までに平年より高温になるかどうか調べ、水稻の高温対策を調べる」

といった使い方もできるなど、農家の営農活動に役立つホームページになっています。

みなさんも気象庁のホームページを活用して、農作物被害の防止に役立ててください。



農業気象のページ

(<http://www.jma.go.jp/jma/kishou/nougyou/nougyou.html>)

茶品評会審査結果

☆第70回関西茶品評会

<農林水産大臣賞>

普通煎茶	木野正男 さん (南山城村)
玉 露	米田五司 さん (京田辺市)

<産地賞>

普通煎茶	南山城村
玉 露	京田辺市

☆第71回全国茶品評会

<農林水産大臣賞>

てん茶	菊岡政次 さん (城陽市)
-----	---------------

<産地賞>

てん茶	城陽市
-----	-----

入賞された皆様 おめでとうございます。

農林水産祭内閣総理大臣賞受賞!

宇治市のでん茶生産者の辻喜代治さんが、平成29年度(第56回)農林水産祭内閣総理大臣賞(農産・蚕糸部門)を受賞されました。
受賞おめでとうございます。



平成29年度 農山漁村伝承技能登録

京都府では、豊かな経験と技により保持されている農・林・水産業の生産・生活技術を広く公募し、登録基準により審査、認定しています。

氏 名	市町村名	登録技能名
森村太一 さん	京田辺市	エビイモ栽培
森本日出男 さん	京田辺市	てん茶製造

平成29年度新規認定京都府農業士

◎指導農業士

氏 名	市町村名	部 門
西村忠雄 さん	八幡市	野 菜
佐野富彦 さん	八幡市	野菜、水稻
鎌田隆宏 さん	井手町	花 き
山中文晴 さん	宇治田原町	茶、野菜
岡田浩伸 さん	精華町	花き、水稻

よろしくお祈いします。

◎女性農業士

氏 名	市町村名	部 門
西村久栄 さん	八幡市	野 菜

◎青年農業士

氏 名	市町村名	部 門
北澤良祐 さん	城陽市	野菜、水稻
堀井良純 さん	城陽市	野菜、水稻
山本将人 さん	八幡市	野 菜
藪田重喜 さん	木津川市	茶、水稻

京のやましろ農業応援隊の活動

普及センターを中心に商工会・商工会議所の経営支援員、JAのTAC、市町村の農政担当、農地中間管理機構現地駐在員、山城広域振興局農林商工部企画調整室・地域づくり推進室・商工労働観光室等で構成する農業応援隊の活動が2年を経過しました。

今年度は新規就農相談に18名、就農後農家として定着に向け、12名に野菜栽培技術指導や補助金

申請相談等の支援を行っています。

また、7月に開催した「京のやましろ農業応援隊 意見交換会」では経営支援員のアドバイスにより新規就農者のイチゴソースやメロンを新たに道の駅で販売する事例ができる等、農商工連携の取組も進めています。

農業応援隊では、これからもチャレンジするみなさんの伴走支援を行っていきます。

お知らせ

◎就農相談会

毎月第3木曜日開催

◎平成30年度就農者基礎講座

平成30年6月から開催予定

※詳細は、普及センターまでお問い合わせください。